

珍魚報告 No.8

令和5年1月12日

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

- 本県調査指導船「いわき丸」で令和4年12月21日に実施した底びき網調査で、メダマアンコウが採捕されましたのでご紹介いたします。
- メダマアンコウの分布はアフリカ東岸からバヌアツ、ウォリス・フツナ、ニューカレドニア、オーストラリア北部から日本にかけてインド・西太平洋に広く分布するほか、国内では九州・パラオ海嶺、東シナ海から九州南部～土佐湾、熊野灘、遠州灘、駿河湾、千葉県沖と福島県沖から採集例があります¹⁾。
- 過去、いわき丸によるトロール調査では、本種に似たヒメアンコウ属魚類が数尾採集されていましたが、同定は属で留めていました。今回の採集個体は、背鰭棘数が5本、体表の皮弁の形状、胸鰭条数が15本、下顎の歯列は4列などの特徴からメダマアンコウに同定されました²⁾。

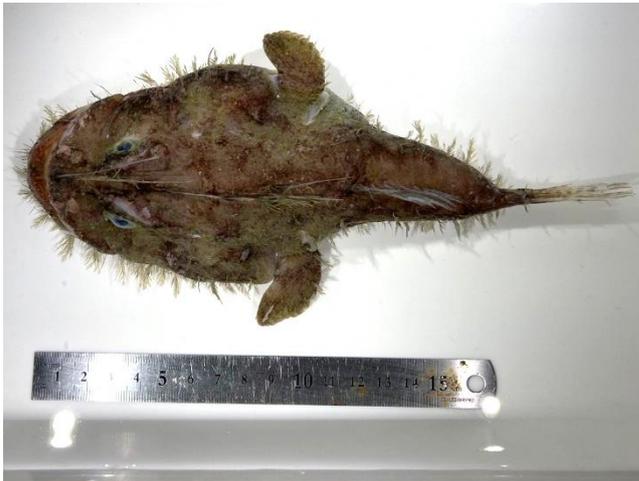


図 いわき丸で採取されたメダマアンコウ

- 魚種名 メダマアンコウ *Lophiodes mutilus* (Alcock 1894)
- 採集場所 いわき沖水深 175m
- 採集方法 着底トロール
- 全長 226mm
- 体長 184mm
- 体重 229.5g
- 種査定にあたっては、アクアマリンふくしま 森俊彰氏にご協力いただきました。

参考文献

- 1) 松沼瑞樹・野村玲偉・甲斐嘉晃：日本産アンコウ科ヒメアンコウ属魚類の標準和名と分類形質. Ichthy, Natural History of Fishes of Japan, 21:47-74(2022)
- 2) 中坊徹次 .2013 日本産魚類検索 全種の同定 第二版 p.536

○福島県水産海洋研究センターホームページでは、漁海況速報をカラー版で掲載しております
(URL: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37380b/gyokaikyo.html>)